

科目名	情報検索	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	宇田 隆幸		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-220002	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報検索の目的は、求める情報（情報要求）に対する結果（情報応答）を得ることにある。結果を得ること、しかし、情報検索には様々な課題がある。特に、網羅性、適合性を高めることが重要であるものの難しい。網羅性を高めるには、検索範囲の拡大（様々な情報源）、適切な検索キーワードの指定を始めとして多くの専門技術が要求される。また、適合性は網羅性と背反する関係（トレードオフ）にあるため、同時に適合性と網羅性を高めることはさらに難しい。本講義では、検索理論・検索機構・検索システムの性能評価方法などの基本を学ぶ。さらに、様々な検索対象ごとの検索方式、キーワード指定の方法、検索結果の優先順位決定方式などを学ぶ。最後に、適合性向上に対する技術（機械学習・深層学習の基礎）、情報検索と表裏をなす情報推薦機構について近年の動向を学ぶ。これらの結果として、図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。</p>				
学修到達目標	<p>図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。 各回の講義内容を学修して授業目的に記載した事項を習得する。</p>				
実務経験との関連性	<p>大学図書館や専門図書館に向けた学術書・専門書の選書員。情報推薦検索エンジン研究・設計・開発経験（特許が1件、論文が20件超）。</p>				

授業計画	
第1回	情報検索・情報アクセス技術の概論
第2回	情報検索システムの構成
第3回	文書の収集と変換

第4回	索引の重み付け（ベクトル空間モデル）
第5回	検索モデル
第6回	情報検索システムの性能評価
第7回	機械学習（分類とクラスタリング）
第8回	連想検索、情報検索と情報推薦
第9回	情報探索の基礎
第10回	検索-書籍と雑誌
第11回	検索-新聞・統計資料
第12回	検索-リサーチナビ・特許・リポジトリ
第13回	論文の引用、検索-Webページランク（RankBrain等）

第14回	検索-統合検索（ディスカバリーサービス）、定期試験の案内
第15回	まとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布資料の予習（2時間）。
【復習】時間・内容	配布資料および講義での説明事項の復習（2時間）。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%）で評価する。
フィードバック方法	課題の解法および参考答案を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考答案をポータルに掲出する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	プリントを配布する。参考文献は毎回、講義の中で紹介する。
受講上の留意点等	配布物を精読し、分からない用語を整理すること。毎回の講義で課す課題や演習の全問に解答すること。講義出席のみでは理解できない。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：G